

はじめに

この度は様々なご質問をいただきありがとうございました。この質疑応答はキャッチボールという形でより多くの方が知りたいと考えている情報を伝えること、また同様の質問が度重なることを防ぐための参照用ドキュメントを作ることを目的とし開催いたしました。

似た質問については一箇所でまとめて回答させていただいております。詳細は後述しますが、一部回答できない内容もございました。全てに回答する趣旨の質疑応答ではないことを改めてご了承くださいませ幸いです。

回答できない内容について

質問受付時に「公開することで事業のリスクになると判断するものには回答いたしかねます。」と記載いたしました。その他、ルールにおいて「誹謗中傷、なりすまし、他者を不快にさせる表現等は禁止です。」と記載した通り、このルールに抵触する質問についても本回答ではとりあげることはありません。今回集まった質問を例にして、回答できない事項についてより具体的な補足をはじめにさせていただきます。

我々単体で判断できないもの（例：法律関連等）

個別のケースごとの法解釈や疑問点については我々ではなく、正確な回答のできる機関等にお問い合わせください。我々の過去の事業判断における主観的な法解釈についても、昨年の混乱同様現時点での参入予定者に不正確な示唆を与えかねないので差し控えさせていただきます。我々は現時点で顧問弁護士および日本国内の規制当局の指導、提言を参考に様々な対策を行っております。もちろんこの事業が継続できる前提で現在も活動しております。

契約上の守秘義務に関わる事柄

リリースのタイミングに慎重な経営判断が必要となる事柄等も含まれます。

Discord上の個別の措置に関する事柄、ルールに抵触する表現を含んだ質問

個別の措置に関する詳細の公開はいたしません。また、これらの措置は権限を持つ管理者が禁止事項に該当すると判断した場合かつ意図的で悪質であると判断した場合に行われます。過去にBAN、あるいは書き込み禁止措置を受けて別アカウントでDiscordに参加していることが判明した場合にも前回と同様の措置をとります。

よく言われる表現の自由についてはこちらをご確認ください。

<https://www.fuhyotaisaku.com/law-right/expression-freedom-defamation.html>

ユーザー同士での誹謗中傷等が問題になることはいうまでもありませんが、これが法人やそれに属する人と個人の関係になったからといって許容される訳ではないと考えます。そのため、これらにも同様に対処します。もちろん、冗談を言い合っていてBANされるようなことはこれまで通りありません。理性的な批判、建設的な議論も同様です。

著しく主観的で前提の共有が困難な質問

根拠が不明確な主観的断定を前提とした質問についても回答することができません。ほとんどの基準や理由はこれまでの項と重複しますが、例えば企業を問わず自らが期待する事業進捗と成果が乖離した場合に用いられる「詐欺、scam」という表現はこれに該当します。

主観的な質問が全て歓迎されない訳ではありません。良いトピックがありましたので、こちらをご参考いただければと存じます。

<https://ja.stackoverflow.com/help/dont-ask>

その他事業上のリスクになり得ると判断したもの

その他にも事業上のリスクになり得ると判断した事柄については回答できません。ここで全ての可能性について網羅することはできませんのでご了承ください。

-
- NANJ株式会社として事業拡大の予定はありますか？NANJCOINとして動きにくい時期なのは理解しているつもりですが、NANJ株式会社としてなら出来る事があるのでは。これまでのノウハウを活かしたコンサルティング業務を活発化するなど、事業拡大への考えを聞きたいです。また、事業拡大（またはNANJCOINの盛り上がり）に合わせて、社員を増員する考えはありますか？
 - 株式会社ですので目に見える成果を常に求められてしまいます 直近では無いかと思いますが、経営統合の可能性はあるのでしょうか？ それとも、経営悪化時は倒産を選ぶものでしょうか？ 会社の在り方、考え方として質問させていただきました
 - NANJ株式会社について 現状損益は赤字だと推測しますが、黒字化のための具体的な施策を教えてください。
 - ぼんぬさんの質問と重複するかも知れませんが、NANJが拡大してからというより、現在の事業を進めたり新たな事業を生み出すためのタスクフォースのような組織が必要なのかなと感じていますが、株式会社NANJの拡大のため、現行の組織体制はベストなのでしょうか。
 - 今年のNANJはどのようにして会社の利益を生み出そうとしていますか？
 - 今の人員を削減する予定はありますか？今の人員は適材適所と言えますか？

中長期的にキャッシュを生み出す事業が必要なのは去年の段階から懸念に上がっておりました。今後JVCEAの会員として登録する必要が生まれる可能性も考えれば、これは必須のものであります。我々は国内外におけるブロックチェーンプロジェクトの企画・開発業務に関わるための新たな事業を立ち上げています。また、すでに数社の案件に取り組んでいます。これらのプロジェクトに関わることは企業体力をつけるだけでなく、技術や考え方の蓄積にも繋がっています。細かな規制に左右されない海外のビジネスモデルに関わることは必ず我々の財産になるでしょう。

経営統合、事業譲渡、VCの受け入れ等も選択肢から除外しません。が、これら選択には目指す事業の形やユーザーの利益のプラスになる場合のみという条件がつきます。

我々は常に今の形がベストであるとは考えていません。主に7名のメンバー（と多くの協力者）で進めてきたプロジェクトですが、事業フェーズの移り変わりに伴い人員や経営体制に変化のタイミングは必ず訪れます。例えば、先の事業を進めるにあたり開発拠点のチームは人員の増加を続けています。先日の取締役変更も変化の一つです。今後、創業時と役割が変わる中で関係を変えたほうが本人の為にもプラスになる場合も出てくると思います。もちろん、NANJに関わってきたメンバーが離れる際には皆様にもお伝えさせていただきます。

-
- WPに掲げているNANJ経済圏の進捗に遅れがありますか？それとも、進んでいますか？
 - ロードマップの進展に関して選手ウォレットの登録と、プロクラスウォレット、unity版SDKに関する言及はいつ頃になりそうですか？国内上場進行ばかりが目立って、本筋の所が見えてきません。
 - 規制等に抵触しない活動も模索、検討するような旨を以前耳にしたように思います。拙速な提案で先方に迷惑をかけることを危惧しているようなことも伺っていた気がしますが、規制の影響を受けない事業スキームは検討あるいは実行のタームに入っているのでしょうか。
 - 私だけでなく他の方の質問も見ていても運営状況に対する不信感・不安がある状態です。プロジェクトのロードマップ、進捗状況を再度お聞かせいただきたいです。

率直に申し上げて足踏み状態の部分も多いです。国内での取り扱いを機に進められることについては当初の予定のまま進むことは難しいかもしれません。対応策として、規制に関係ない方向でのサービス展開準備を進めています。ネックになっている部分はトークンを絡める部分なので、代用等で進める方が時間効率的にもいいと考えています。この方向性での事業は他社と行うことも検討しています。

プロクラスのウォレットについては、現状のコンセプトでは今回の資金決済法の改正に伴う規制（他人のために暗号資産の管理をすること）の影響を受ける可能性が強く、方向性の再検討が必要になっています。プロクラスのウォレットはスポーツ選手やマネジメントを手がけている現場の声を参考に検討開発を進めてきました。その中で出た意見を参考に、例えば秘密鍵等の管理について、事故があった場合に備えマルチシグ管理として一部を我々が預かることを検討していましたがこれは難しいかもしれません。法案により具体的にどのようなことが規制されるのかが明確にならないまま開発を続けるのは困難です。今後、ユーザーの使いやすさを優先するためにライセンスを取ることも検討しています。SDKも現状と今後のポジションを考え、機能拡張をベースに開発することを優先する見通しです。

ロードマップについて、別の考え方としてそもそも変化の度合いが大きく外部環境に大きく左右される業界では時間を区切ったロードマップよりも、実現することを記載し時間の制限を設けない方がすべての関係者にとって有益なものになるのではと考え、弊社以外の事業者や識者のアドバイスや判断等も参考にしながら検討を進めています。遠くない内に改めて決定事項をアナウンスいたします。

-
- 国内上場の進捗具合はどのような状況でしょうか？
 - 国内上場に向けて日々精力的に動いていらっしゃると思いますが、手ごたえはいかがでしょうか？想定通りに進んでいるとか予想より手間取っているとかで結構です。

引き続き、国内の仮想通貨交換業ライセンスを保有する数社と懇意にさせていただいております。法規制の動向や、我々の方向性等意見交換を続けております。国内ではそう悪くはないポジションにいると考えています。

-
- これからも他の人をbanする予定はあるのか、どのような発言をしたらbanされるのか

これらの措置は権限を持つ管理者が禁止事項に該当すると判断した場合かつ意図的で悪質であると判断した場合に行われます。BANが複数アカウントに機能しない指摘や、実際に複数アカウントによる同一人物だと思われる荒らし行為も過去に確認されているため、電話番号認証を行ったユーザーのみ書き込み可能の設定を適用することも検討しております。

-
- やーぼさん始め、フロントがこの1年で挙げた成果が見えにくい状況です 全員分教えて頂けないでしょうか？

表に出ている情報についてはWP、ブログ、その他弊社からの発信物をご覧ください。我々から発信されたもの、活動等は全て弊社内のメンバーの手で作られています。弊社に限らず、世の企業のほとんどでは同じく誰が何をしたか外部からは見えづらいものだと思います。今後も一人一人が何をしたか、具体的に何をしているかということについて公共の場で逐一言及する予定はございません。

-
- なぜハゲ先生はNANJの活動に関する内容を公言せず、リップルやビットコイン等に力を入れているような発言をされるのでしょうか？
 - ツイッターやディスコードでNANJに関する活動を見せない一部運営陣はどういった意図がありその選択をしたのでしょうか？(忙しくとも軽く発言は出来ますから忙しい事は理由にならないと思います)
 - 情報配信について秘匿する方針にしていることが不信感に繋がっているのかと思いますが、今後の情報開示の方向性についても再度お聞かせください。日本式なのかもしれませんが、他の仮想通貨プロジェクトと比較して情報開示は少ないと感じております。
 - ツイッター等での発信数が少ないと指摘があり改善されていましたが、今の水準で充分と考えていますか？
 - 運営は何もしてないと思ってる人が確実におり、不安が広がってる事実がありますが対応されませんか？

各個人のツイッターは会社の運用アカウントではありません。よって何を話すかは個人の裁量に委ねられています。今回のQAをはじめとして、区切りごとに何らかの形で現状をご報告する機会を作ることは続けていきます。以下、過去にディスカッション上で回答した内容も合わせて引用いたします。

引用：「活動しているかどうか不安」という内容については、様々な見方があると思います。もうこれについては私の代表判断で、あえて各運営には自分の仕事に専念してもらっています。誤解を恐れずに理由を申し上げますと、これからの事も考えた上で、一企業が「活動しているか不安」という低い次元のコミュニケーションにリソースを割くべきではないという思いからです。低い次元というと表現が悪いかもしれませんが、我々や業界のこれまでの足跡がこの不安を生み出した原因であることを深く理解しています。例えば最近Discordにもほとんど書き込んでいませんが、これも「運営が書き込んでいる＝安心」という構図が不健全であり、必要な時にこのように回答させていただくのがもっとも正しい距離感であると判断した上でのことです。これは本当に、本当に悩みましたが、この先に我々が形にしようとしている在り方や、社会から求められる水準から考えた時にはこちらの方が正しいのだと確信した上での決定です。

-
- 一部謎部屋について運営の考えをお聞かせください。とある部屋は部屋の名前が意味不明で中身は相場の話や他通貨批判が主でこういった自由すぎる部屋が存在を許しているのは何故ですか？相場の話なら相場部屋がありますし他通貨批判を放置するのは宜しくありませんよね。

活発に利用されている部屋を積極的に削除する予定はありません。批判ではなく、誹謗中傷は発見、通報があった段階で削除対応しています。

-
- NANJWalletで送金した時に送金中になったままのバグがローンチ当初から存在しますが、未だ修正されてない事について質問です。一度送金中のままになるとキャンセルすら出来ず、NANJを動かすことも出来ず、財布として致命的なバグと捉えていますので修正を希望しています。そこで、今後修正する予定があるのか否かをお聞きしたいです。もし修正しないと言う場合はその理由も教えていただきたいです。よろしくお願いします。
 - Andoroid版のNANJウォレットのバージョン1.1で指紋認証に対応予定とあったのですが、v1.1.0で未対応のままでその後の経緯も見つけれませんでした。こちらは次のバージョン等で対応予定でしょうか。
 - ウォレットについて、以下の機能を開発する予定はありますか。・自動再送信(失敗時)・複数人一括送信

送金中のまま止まる現象はEthereumネットワークが混雑し、TXがマイニングされなかった状況で発生します。ネットワーク上のUnminedステータスが実際に取りこぼされたのか、それともマイニング待ちなのか判断ができないので今後の対応としては30分で自動取り消しを行う方向で検討しています。実装までは引き続き同現象が発生した場合にご連絡ください。

指紋認証は今後対応を予定しています。自動再送信については念の為他人の暗号資産を管理することに抵触しないかを確認するため現状では結論が出せません。また、複数人一括送信についてもUI/UXの観点を検討したいので現状では検討のみです。複数人への送信は以下の過去ログ引用をご参照ください。

<http://s.kota2.net/1555742433.png>

-
- NANJで働いてて楽しいですか？

楽しいです。楽しくなければ続けられない領域であると思います。多くの人に出会い、交流し、一年前とは様々な事柄の見え方が変わりました。個人的には成長の実感よりも、自分に足りない部分が日に日に明らかになっていくことに喜びを覚えます。わからない、できないということがわかる体験は貴重だなと思います。今回回答を作っている間も楽しいです。

-
- 以前サイクロプスさん達と一緒にアメリカに行った際に、野球関係の方々とコンタクトを取ってましたがその後何か進展などはありましたでしょうか？

具体的なサービスもいろいろ考えていましたが、アメリカ国内の規制の関係でいずれも実現が難しいという考えになりました。

タイミングが来れば共に活動できる日もあると考えています。

-
- 投げ銭による売り圧の増加を解消する方法ありますか？経済圏構築のような遠くならそうな施策以外で何かあればお願いします。

短期的に達成するのであれば、トークン設計を見直すのが最善だと思います。

いずれ法定通貨で抜けていく媒介のトークンとしてではなく、トークンそのものに価値を蓄積できる形がわかりやすいかもしれません。今の所何か決まっているわけではありませんが、ピボットはありえます。

-
- 以前、"誰でも知っているような世界規模の企業"との提携を匂わせる発言をなさっていました。その後、進展はどうなったのでしょうか？破談になったのでしょうか？

特に昨年は複数の国際的な市場で結果を出されている企業の方々と意見交換、企画の提案やご紹介をいただき幸運に恵まれました。現状これらのご縁は業界動向等を勘案し、直近で何らかのアクションを起こす方向では進んでいません。適切なタイミングで動きを出せるように引き続き活動しています。

-
- Twitterでや一ぼさんが話されていたSDKの改修についてですが、あれはNANJウォレットで他のイーサトークンを使えるようにするという認識であっていますか？また、その様に改修するのであれば送金の際はNANJと同じ様にそれぞれの通貨からGASを払える方式になるのでしょうか？

その認識で間違いありません。

-
- SDKを用いたアプリ開発登録者数は増えていますでしょうか？また登録者の中で現在も開発を進めてる企業または個人の割合はどのくらいでしょうか？
 - あと、NANJ株式会社としてはNANJWallet以外にSDKを使ったアプリ開発はしないのでしょうか？Wallet以外の実用例があると後続が続きやすいのかなと思いました。

開発者登録は開始当初から大きくは増加していません。開発者登録のほとんどは個人で、企業からは直接問い合わせ等をいただく場合が多いです。問い合わせからみてNANJのみに限定せず多くのトークンを取り扱うことに需要があると判断し改修を行うことにしました。SDKのあり方自体が変わるので、それに応じて開発をするケースは出てくると思います。

-
- イッチと行く！やっぱり行かないプロ野球観戦ツアーは予定してますか？
- していません。今後もないでしょう。
-

-
- あれからお身体の具合（メンタル面含め）はいかがですか?4月になり新年度を迎えたわけですが、NANJ株式会社を代表して今期の抱負をお聞かせいただけたら幸いです。

お気遣いいただきありがとうございます。今期の抱負は力を溜めて生き残るです。資本的にも技術や知見の面においても力を蓄え、必要な時に適切な展開ができるように進めます。

-
- ツイッター上などで、明らかにNanjcoinのマークを付けて他通貨を非難している事があります。他通貨からすれば、忸怩たる思いで、怒りの矛先はNanjcoin運営に向かうと思います。同じ国内上場を目指すプロジェクトは、金融庁や取引所とコンタクトを持っており、風の噂ではNanjcoinの非難を行なっていると聞きました。運営自体は、批判などしていないのに、国内上場へ向けた動きへの最大の障害になると危惧しています。ホルダーの態度や売買は自由というスタンスでしようが、実際そのような不要な障壁ありましたか？

印象のみで全てが決まる未熟なプロセスを排除するための業界の正常化、ライセンスや法整備ですから特に心配はしていません。自分の信じるものだけが正しく、それ以外は違っているというのはどの業界、年代でも普遍的に存在する価値観の一つだと思います。不思議とリアルな関係の中ではそのような意見に出会うこと自体が稀なため、実務上困ったことはほぼありません。

-
- 開発費、運営費に関しては、ロックアップされ、マーケット費に関しては利用するというのが公式発表です。マーケット費の一部が、Midex やCoinexchange に移動されていますが、イーサスキャンを見る限り、運営アドレスから直接移動されたのではないようです。そこで、質問ですが、運営が売った事は無いが、マーケティングで利用した結果、相手が取引所に移動させた。という認識でいいでしょうか？また、経済圏の時に、行政や企業に配る分があると思いますが、30億枚の内、何枚残っていますか？また、どんなマーケティングに利用したのか、公表できる範囲で教えてくださいませんか？

マーケティング費は主に取引所との契約上のデポジットとして一時的に利用しています。マーケティング費は我々から直接マーケットに出たことはありません。マーケティング費はイーサスキャン等でご覧ください。デポジットは返却されるので30億枚ある計算です。

<https://etherscan.io/token/0xffe02ee4c69edf1b340fcad64fbd6b37a7b9e265?a=0xc6240830d37651f1bf14022076a8de08b9b38bb>

-
- 現状、提携している仮想通貨プロジェクトを教えてください。Ninja やCosplay 以外にもありますか？また、どのような事や、情報を共有していますか？

過去のプレスリリースにある通りCosplayのみです。その他はありません。主に国内の規制動向や仮想通貨交換業者関連の情報を交換しています。

-
- ちなみに、日本仮想通貨交換業協会への加入は年会費などかなり費用が発生しますがするのでしょうか？

必要になればあります。それも見据えて動いています。

-
- 上記流れから。ハゲ先生のFXはNANJ株式会社の投資業務であったとするならば資金は潤沢と考えています。NANJウォレットの転送手数料は、売り圧（運営費）にならないと思っていますが正しい認識でしょうか。

会社としてFX投資を行うことはこれまでもこれからもありません。また、関係者の個人資産がそのまま会社の体力余力になることもありません。手数料は将来的にトランザクションfeeを補うための運営費になります。が、今後1年以上はその予定はありません。

-
- 過去既出の質問であればすみません。NDAによる負の影響が想定以上に大きく出ている、またそう感じることはありますか？概ね想定範囲内ですか？NDAはある種仕事の成果、証拠でもあります。一方その規制性ゆえ、スピードの速い当業界において、仕事が進んでいない、止まっているという負の心象を与えかねません。上記、百も千も承知と思いますが。各所で不満が多く散見されるようになり、人も離れていっている現状、NDAの先にある成果がいざという時に十分に発揮されないのではと危惧しています。NDAが生み出したこの状況は想定範囲内ですか？感覚的な質問ですすみません。

基本的にどの業界であってもまずはNDAありき、必要な情報以外は双方の同意なく公開しないが慣例だと思います。自社内のみで進捗の管理が可能なサービスを提供する企業の情報公開頻度と比較し、我々のような企業間の関係ありきな事業では構造的にも公開できる情報が少なくなります。

-
- 例えば開発者を有志で募る、コミュニティやサロンを作成して企画やイベントを進めるなど、もっとオープンなプロジェクトにした方が経済圏が発展すると同時に暗号資産らしいですし、非中央集権的な価値ある存在になると思いますが、NANJは今の状態のように重要な開発や企画を中央集権的に進めていくのでしょうか？（イラスト等のプロジェクトは動いてますが、もっと自由にユーザーがプロジェクトを始動できた方が良いと考えます）

一企業が発行している以上、その通りです。NANJ株式会社の公式であると宣言しない限りにおいては誰でも自らの責任の範囲内においてNANJCOINやその他提供されている物を用いて何かを始めることはできます。

-
- NANJハッカソンは開催しますか？

現状具体的な予定はありません。将来的にはもちろんしたいです。

-
- 情報開示について法的な制約等があると発言されていますが、具体的にはどういった制約なのでしょう？本当に法的な制約なのか、担当弁護士等による不要な発言の禁止のための措置なのか知りたい。例えば解決策の1つとして、そもそも無責任配信という形で情報開示はできないものなのでしょうか？

回答できない内容をご確認ください。その他、資金決済法の仮想通貨交換業のみが行える業務等についてもご参照ください。これらに抵触すると判断されかねない発信については弁護士、関係機関の見解を参考に一切行いません。無責任配信もまた同様です。無責任をいくら自称しても受け手にはそれは伝わりませんのでご了承ください。

-
- 『たまらん』スタンプの実装は考えていますか？おんぎいスタンプはあるのに対となる『たまらん』スタンプが無いのは悲しいです。個人的には去年からほしいスタンプです。

特に考えていませんが、要望が多ければ実装されるかもしれません。

-
- 今現在開発費として4,500,000,000 NANJ(総発行量の15%)がロックアップされており、期間は2019年04月30日 23:59:59 +09:00(JST)までとアナウンスがあります。その期間以降について取扱いにつきお考えをお聞かせ願えば幸いです

引き続きロックアップです。期間は半年～を予定しています。
以前のロックアップ終了までにアナウンスされます。

-
- 法的に～で濁さず全質問に回答できますか？

そのような趣旨の機会ではございません。

-
- 決算公告はしないという趣旨の発言がや一ぼ氏からあったようですが、これは株式会社NANJとしての総意ですか？一応法律上は株式会社の義務だと思うのですが…。(会社法440条) (現実として罰則が形骸化しており決算公告を行わない企業が多いことも承知ですが、行わない企業のほとんどは限られた取引先のみとの関係で成立している中小企業であり、多数のコインホルダーから生まれた株式会社NANJが同じでいいとは思えません。株式会社NANJに対しほぼ何の権利も持たないコインのホルダー側が得られる最低限の情報として、バランスシートの公開は必要と個人的には考えます)

ホルダーの皆様に広くお知らせすることはございません。

-
- ブログ運営の立場から質問します現状においてNANJCOINの広報宣伝などはTwitterやブログ運営者の有志活動により成り立っているのが周知の事実です。NANJCOINのビジョンや現状の問題点それに向けた改善策、タスク進行に関する進捗状況などの公表がなければその有志活動や広報活動もままならず結果先細りになるおそれがあります。(実際にそうなりつつある)新たなネタを仕込み記事化するにも限界が生じている状態で、Twitterやブロガーのモチベーションも持続しません。よって次の事項について何らかの回答をしていただくと幸いです。
 - 1 ブログやTwitterを使い有志活動や情報発信をするユーザーの救済を何らかの形で行う考えはあるのか？(金銭の支援は求めていません、あくまでも有志活動を維持するためモチベーションを持続させるための施策などの考え)
 - 2 NANJ運営が広報活動をしなければ有志の広報活動も次第に先細りになり、有志の活動が無くなればNANJCOINは地に落ちます。それに対する考えはお持ちでしょうか？最後に一部のブロガーはNANJCOINと運命共同体と考え覚悟しています。ですが、現在の状況ではブログ運営が厳しく、方向性を見極める分岐点にさしかかっています。最後までNANJの看板を掲げる覚悟ではありますが運営の考えを聞きたいのでご回答をお願いします。
 - 有志活動のサポート・アシストをする考えはありますか？(金銭面では無く過去の経験から行動を補助等です。)

いつもブログの更新ありがとうございます。毎回楽しみに拝見させていただいております。まずはじめに、何か協力できることがあればぜひ協力したいというのが運営の総意です。コンテンツになるかどうかは不明ですが、例えばTwitter等で我々が言及したことに対して、ブログの運営者様がインタビュー記事という形でより掘り下げる等はすぐにでも協力可能です。実働のみを追う構造では現状ネタに困ることは間違い無いかと思っておりますので、共にコンテンツを作る方向でならば、もう少し我々もお役に立てるかもしれません。ブログのみではなく、これまでも表で言及していないだけで有志活動について頼まれて可能なことは対応しております。何かあればお問い合わせください。

企業としての広報活動については事業活動とシナジーがあるタイミングでリソースを集中的に投下する考え方です。今後一切我々から広報しないのではなく、企業として必要な広報活動は広告代理店等とも連携し行ってまいります。

-
- 投げ銭以外の路線を考えていますか？具体的にあればお願いします。
 - 次回の投げ銭企画の構想はありますか？それとも交換業認可取得して資金決済法に遵守する形にならない限り運営主体の投げ銭企画は不可能な状況ですか？
 - NANJはスポーツに特化した通貨という認識ですが、何か“スポーツ”に関連する企画やイベントを開催する予定はありますか？
 - 仮想通貨とは直接関係の無いイベントをおこなう予定はありますか？(以前のリアルコインイベント等)

投げ銭以外の路線についてはWPを参照してください。

投げ銭という手段以外にも何らかのスポーツと協力してできることがあれば企画として行います。直近の予定はありません。投げ銭企画を行うことは問題ないと考えます。が、企画の構造を見直す必要はあると考えています。

-
- 法規制の影響で出来る事(仕事)が無い・少ない状況ですか？
 - 法規制内で出来る範囲の広報も行わない方針ですか？(NANJ理念への共感者を増やす行動がほとんど見られないので。)

その他の回答にもあるように、法規制で元からの計画の一部はペンディング状態にならざるをえない状況です。その分、現状可能な事業は広げていきます。

昨年の上立ち上がりフェーズでは多くの人に知ってもらうことが成長のドライバーでした。

フェーズは変わった今、NANJを初めて知った人が何をするのかをプロダクトで示せない期間中は広告費の無駄遣いで終わるため、必要なタイミングで広報が機能するための土台づくり(サービス、プロダクトの開発)を優先して進めます。

-
- NANJCOINホルダーと言うだけでNANJ株式会社に投資したと勘違いしてる人をどう思いますか？

成功に期待していただいている点には変わりないかと思えます。

-
- 少なくとも5年単位でしか成立しない事業と思いますが、数ヶ月や単年で結果を求められる状況をどう思いますか？

各個人がどのような想いを抱いてNANJと関わるのかは各人のスタンスの自由だと思います。何をどこまで結果と捉えるかのゴール地点ですら各人違いますから、我々はただ実現に向けて行動するのみです。

-
- 大半のNANJホルダーがスポーツに無関心と言う今の状況をどう思いますか？

NANJをきっかけにスポーツとの関わり方が変わるような体験を提供できればいいなと思います。

-
- ツイッターのフォロワーやディスコードの人数を増やす意思はありますか？具体的な策があればお願いします。

増やすのではなく、結果的に増えるものだと思います。現状の事業水準と照らし合わせて少ない等問題が出ればもちろん対処します。

-
- スポーツ業界は利権社会ですが、入る余地が無ければスポーツ以外に切り替わる事がありますか？

現状はそのような方針転換を前提にはしていません。

-
- 今までの失策(反省点)を出来る限り教えていただけますか？

成功失敗の判断ができるラインにもまだ到達していません。繰り返したくないことと言えば多々あります。

-
- 仕事のある日のスケジュールを教えてください。事はできますか？ほんの一例で構いません。

基本的にリモートワークなので資料作り、打ち合わせ、ミーティングのサイクルを繰り返します。私の場合は外出が伴うことも多いですが、移動中も上のサイクル同様です。どの仕事とも変わらないと思います。

-
- 運営それぞれに好きなスポーツはありますか？(あれば応援してる姿をイチさんみたいにツイッターで見せてほしい)

モータースポーツが好きだったり、球技だったり、登山だったり様々あります。

-
- ご自身は社長に向いてると思いますか？

自己認識で言えばもちろんです。メンバーがどう思うかはわかりませんが。

-
- NANJCOINがしようとしている、プロジェクトやビジョンが仮想通貨でなければならぬ点や、強み、などのフロントの考えを聞きたいです。

基本的な内容はWPをご参照ください。現状は制約の多い手段ですが、これらはいずれ解決される問題です。Web3.0という言葉がよく言われますが、スポーツにおいてもあらゆるレイヤーで、これからの価値のやり取りの仕組みが”個人”の繋がりへ移行すると我々は確信しています。将来有望な選手が企業のスポンサーではなく、複数の支援者に支えられ、選手から直接支援者へもリターンがあるというような関係は将来の当たり前になるでしょう。ファンとの関係を深めることが、スポンサー企業との関係を維持することよりも競技にとってより利益を最大化させるという構造は、利害関係の少ないベンチャーだからこそ実現できる領域なのかもしれません。

-
- ツッチーは生きてますか？

元気です。

-
- 上場から1年が過ぎて界限の状況・法整備の動きなどいろんな事が有りました身動きが取りづらい、厳しい状況とは思いますが当時と比べて情熱は変わりませんか？

やるべきことが明確になってきている分、より具体的に情熱を燃やせるようになりました。以前よりも強いです。

-
- いつか話された新たな参加者へ広がるようなものを出す件ですが、こちらも想定通りの進捗具合でしょうか？

想定通りです。

-
- 法規制についてですが、一般にはまだ出回っていないような情報もあるでしょうが、そういったものに照らし合わせて現状動いているのでしょうか？それとも、今世間に明記されているものがすべてで、今後こういった規制になるだろうといくつかのパターンを想定して動いているのでしょうか？

だいたいこうなるだろうね～という情報は常にあるので、それを参考にしながら進めています。

-
- 競合プロジェクト（NEMを使ったEngate、海外トークンのチリーズなど）に勝つ、共存するための戦略はありますか？今後NANJが躍進できる時期には大手の参入も必ず来ます。大手や他プロジェクトに飲み込まれないためにも、他プロジェクトとの差別化のポイントを聞きたいです。

この分野はまだまだスケールするかわからないので、同規模のプロジェクトに対し！と考えるフェーズではないのかなと思います。もちろん動向は常に追っています。

-
- Trello等のプロジェクト管理ツールで「一般公開用」のボードを作成していただく等、プロジェクトの情報を共有していただくなどはできないのでしょうか？

自社内のみの開発や要素で進捗を管理できるタイプのプロジェクトではないので、相性が良くないと思います。現状予定はありません。

-
- 質問です！見る限り現在の質問のなかには悪意のあるものやアラ探しのための質問も見受けられます。終わったことや過去のことやいまさら聞いても仕方ないような質問をされて荒れるのが目に見えています。そういった状況はホルダーからみても新規からみても見苦しいかと思えます。こうなるのがわかっているのになぜ質疑応答をおこなったのでしょうか？
 - 質問失礼します。上記のtikiさんと同じなのですが、何の為の質疑応答なのでしょうか？ホルダーの事を考えて、この質疑応答を考えられたと思いますが、書き込みを見る限りあまりお見かけしない方が多数いると思います。私は長年投資をしてきましたが、質疑応答をするよりも、例えば月に1度活動報告やNANJ主催でスポーツ大会などの方が企業としての価値を高める事に繋がると思えますし、ホルダーの皆さんも安心してNANJCOINに投資して良かったと思えると思えますが、いかがお考えでしょうか？

様々な意図の書き込みがあり、回覧されていた皆様にはご不満な点もあったかと存じます。質疑応答そのものは今回解答を作成していても、いい方向で利用できるのではないかという手応えを感じております。今後問題にすべきは頻度、方法だと思しますので、今回実施して得られたことを次回以降に反映します。

-
- 煽られて直ぐ態度に出る人は表に出るべきじゃないと思いますが如何ですか？発言をチームで精査するだとか代理人を立てるだとか対策は考えてませんか？

予定はございません。精進します。

以上です。